

**WEEKLY SIGNAL**

平成27年7月24日(金) 1284号

**上田八木短資株式会社**

**来週の市場とレート予想**

	7/27(月)	7/28(火)	7/29(水)	7/30(木)	7/31(金)
無担保O/N	0.030% ~ 0.125%				
銀行券	+ 300	ト ン	ト ン	ト ン	ト ン
財政他	△ 16,900	△ 2,000	△ 1,000	+ 2,000	+ 19,000
資金需給	不 16,600	不 2,000	不 1,000	余 2,000	余 19,000
主な要因	国庫短期証券発行・償還(3M)			交付税特会借入・償還	
オペ期日	共通担保 △ 2,600 CP等買入 △ 400 ETF買入 △ 100				
オペスタート	共通担保 + 2,800 国債買入 + 12,200	短国買入 + 20,000			
(日本)	中曾日銀副総裁講演(熊本市) 企業向けサービス価格(6月)		製造業部門別投入・ 産出物価指数(6月)	石田日銀審議委員講演 (京都市) 鉱工業生産指数(6月) 対外対内証券売買(前週分)	消費者物価指数(CPI全国6月 東京都区部7月) 完全失業率(6月) 有効求人倍率(6月) 家計調査(6月) 住宅着工統計(6月)
(海外)	米 耐久財受注(6月) 欧 ユーロ圏マネーサプライ(6月)	米 FOMC 29日まで 米 S&P/ケース・シラー住宅価格 指数(5月) 米 消費者信頼感指数(7月)	米 FOMC 政策金利発表 米 MBA住宅ローン申請指数 (24日終了週) 米 中古住宅販売成約指数 (6月)	米 GDP(4-6月、速報値) 米 新規失業保険申請件数 (25日終了週) 欧 ECB経済報告 欧 ユーロ圏景況感指数(7月)	米 シカゴ製造業景況感指数(7月) 欧 ユーロ圏失業率(6月) 欧 ユーロ圏消費者物価指数 (7月、速報値)

**[インターバンク市場]**

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	0.080 ~ 0.120
SPOT 2M	0.117 ~ 0.125
SPOT 3M	0.118 ~ 0.135
SPOT 6M	0.130 ~ 0.150

**<インターバンク>**

当座預金残高は週初、222兆1100億円であった。その後は短国・国債買入を主因に増加し、週末は226兆1500億円で越週した。無担保コールON物は、週を通して0.075~0.077%のレンジで取引され、加重平均金利は0.075~0.076%で安定的に推移した。21~23日にかけては試取りの動きがみられ、0.12%台の出合も散見された。ターム物は、1W物で0.117%の出合。20日、ギリシャ政府はIMFへの遅延債務の支払いや、EUからのつなぎ融資を受けECBが保有する国債償還の手続きを行った。また、ギリシャ国内では同日、銀行の窓口営業が約3週間ぶりに再開された。来週の予定は、CPI、失業率(31日)、海外で

**[オープン市場]**

NCD 3M	0.090 ~ 0.120
CP3M(a-1+)	0.070 ~ 0.090
TDB 3M	△0.005 ~ 0.000
現先(on/1w)	0.060 ~ 0.100

**<CP>**

今週の入札発行額は約6000億円で、期落ち額約5000億円(金融機関・ABCP除く)を上回った。a-1格相当銘柄の3M物入札発行レートは、0.080%近辺~0.100%台後半で推移した。現先レートの中心は、0.060%~0.100%程度で推移した。来週の期落ち額は約1兆3600億円程度となっている。8月に入ると発行が少なくなる傾向があり、今月末までにどれだけ発行されるかが注目される。

**<TDB>**

23日に国庫短期証券3M第547回債の入札が行われたが、最高落札レートは△0.0020%(前回債△0.0020%)、平均落札レートは△0.0032%(前回債△0.0081%)と前回債から利回りにほとんど変化はなかった。セカンダリーは3Mで△0.002%近辺の出合い。6Mは△0.045%近辺の地合い、1Yは△0.06%近辺の地合いであった。来週30日に3Mの入札が行われる予定である。

**<レポ>**

足許GCは週初、先週末とほぼ横ばいの0.06%近辺の出合から始まり、週中には0.065~0.07%まで小幅上昇した。TDB3Mの入札が行われた23日のS/Nでは0.07~0.075%の出合まで上昇したが、24日のT/Nでは0.07%から出合い始めるもオファーが続かず、0.06%まで低下した。さらに24日のS/Nでは短国買入オペが2兆円オファーされたこともあり、0.055%近辺までレートが低下し越週した。SCは10年336・337・338回債がO/N物・ターム物ともに週を通してネガティブレートで推移した。2年債は349・351回債、5年債は122・123・124回債、10年債は327・328・336・337・338回債、20年債は152回債に引合が多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。